

## 青森県つがる市などの視察報告 2 令和4年7月7—8日

### ◎メロン栽培農家、現地メロン畑

個人視察 町田市議会議員 「無所属」会派 吉田つとむ

#### ○ 概要

主要には、青森県つがる市の水耕栽培メロンの実証実験栽培施設の見学が目的でしたが、そもそもメロンが全国でも第3位の出荷自治体ということで、実際の農家も訪問、視察地に加えることになりました。



メロン栽培農家と作付け地を案内していただきました。新岡農園の新岡 亮様の農園には露地栽培とハウス栽培の双方はありました。ハウス栽培が早稲、その後に露地栽培物が出回るようになっていました。せっかくですので、少量ですが、その双方を現場で注文させていただきました。新岡様は、木造施設園芸生産組合の組合長も務めておられました。

「木造」は、5町村が合併してできた、つがる市内の旧自治体の一つで、現在の市庁舎が置かれる木造町に相当する地域です。



#### ○ 特記事項

訪問先の設定に関しては、つがる市経済部 観光・ブランド戦略課 梶浦宏文様（専門員）には大変お世話になりました。

○ 所感

新岡農園の新岡 亮様の農園は、自宅から相当の距離がありました。つまり、自宅は住宅地にあり、農地は別の場所にあるということであり、生活の場と畑の位置が異なるというものです。生活の利便性からすると、当然とも言えましょう。自動車で移動することになります。



別のメロン栽培農家の露地栽培農地

農家の後継者問題がありますが、幸い、新岡農園では跡継ぎとなるべき方も就農されているということでした。また、このメロン作りは、路地にしても、ハウスにしても、土壤に種付けをして、育てるものであり、かがんだり、しゃがんだりする姿勢を必要とし、重労働となることで、その負担の軽減は重要課題となっています。

そのメロン栽培地は、ハウスと露地に分かれていました。出荷時期をずらすためのもので、ハウスで作付けしたものが先に出荷時期を迎え、露地物が後になるということでした。訪問時期は、ハウス物のメロンの出荷がほぼ終わり、その次の露地物の出荷を控えているとのことでした。

このつがる市は、旧来、スイカが名産であったそうですが、メロンに転作した農家が増え、現在の盛況になったとのことでした。市内でも広範囲にメロン農家が展開しているようです。



さらに、別のメロン栽培農家の露地栽培農地



そのメロン農作地を少し角度を変えて撮影

当然のこととして、青森県つがる市が進める水耕栽培メロンの実証実験が順調に進み、つがる市経済部 観光・ブランド戦略課の取り組みが評価を得て、つがる市のメロン農家の中に、メロンの水耕栽培方式を採用する人が出てきて、メロンの通年栽培が広がることを心より願っています。